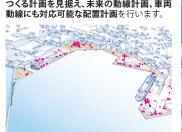


■ 施設完成後の未来を見据えた計画

現在の大分市のマスタープランで定めてい るかんたん港園と大分港エリアの「創造・表 現地区」、今回の計画地を含む「元気回復地 区」を結び、ベイサイドエリア一体の賑わいを つくる計画を見据え、未来の動線計画、車両



■「大分県の2つの玄関口」

出す」大分県の玄関口となります。

空港側、大分市側の2つのターミナルを同じデザイ

ンコードで設計し、大分県の玄関口となる建築をつ

大分の原風景を設計の要素に用いたターミナル空

間であることにより、ターミナル利用者を大分の魅

力で「向かい入れる」、あるいは大分の魅力で「送り

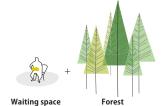
穏やかな佇まいのランドマークは日常的な風景の

一部でありながらも、訪れた人々の意識の中に潜在

化され、誰もが認知する大分の顔となります。



■ 大分の様々な魅力と巡り合う新しいターミナル空間の創出



ホーバークラフトの待合空間と、大分県のアイ デンティティでもある緑豊かな杉林の風景を掛け合わせることで、大分県ならではの魅力ある 建築を作ります。

魅力と巡り合うターミナル空間を作ります。

空港側

大分県の様々な 魅力と巡り合う

・ 大分の食材を味わっ

ーバークラフトが出港するまでの居場所を探す中で、たまたま目にする大分の伝統 杉林の様な散策性の高い空間は、様々な大分の 工芸品、自分が足を踏み入れたことのないカテゴリーの魅力、その様な**意図せぬ出会** いの連続が大分の新たな魅力を世界に発信する、新しいターミナル空間を提案します。

大屋根は津波発生時に一斉非難に対応した十分な幅のスロープを確保しており、地上 から屋上まで繋がることで周辺敷地からの非難にも明快な避難計画となっています。



■ 乗降計画

ホーバークラフトの垂 降高さと床面の高さを に配慮した乗降計画と



■ 環境計画

立地、地形、屋根 (負荷制御) 形状を活かし、で通常の屋根に比 卓越風を利用し 能な限り空調に 親らない計画と 回射遊蔵 深い底により し、外光を効率よ

早越風を利用し て自然通風を最 大限利用した可 を利用した同力発電設備 の検討をします く取り込む開放 Maghie Religion 1 く取り込むにより 的な空間を実現 にます。 場合を登り の様

別府湾から見える外観には細心の注意を払いつつ、別府湾岸に対して賑わいのある美しい景観をつくります。

緩やかな勾配で空へと上昇していく外観は、大分を一望できる展望台へ滑らかなシークエンスをつくります。

施設に訪れた人々が自然と展望台へと足を運び、美しい別府湾を感じ、ホーバークラフトの発着を望んだ後に、大分市を眺めながら下っていく体験が可能です。

■ 空へと上昇していく外観 - 宇宙港大分を象徴する姿を -

展望台:高さ12m、全方向に開けた展望台では別府湾への眺望を確保し、 ホーバークラフトの出入港の様子をすぐそばで見ることができます。

地域で育った木材を使用することで、地域の気候・風土に合った建築をつくります

又、木材が持つ温かさが居心地の良い待合スペースを演出し、街のシンボルとなる建築をつくります。

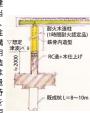
発券

■ 大分県産材や地域材の活用

また雄大な別府湾岸に馴染み、街の日常風景の一部として調和する構えをつくります。

■ 構造計画

津波避難施設(B種)である本建 物は、想定浸水深1.9mに相当 する高さまで剛強なRC造とし、 それ以上の部分は、耐火木造柱 てれるエンロッカン、Bのでの構 ▽想定とすることで、港湾地区での構 ▽想定



16

緩やかなスロープに導かれる

A 10 1011m m 1 11

直然角度システム 住場道による開放的な空間 は基金ものかなく、自然無気 に有効的です。 システムを提案します。屋根は システムを提案します。屋根は 平面計画の自由度が高く軽量 な鉄骨造とします。建設地の特 性を活かし、大型のユニットを 台船で運搬することで、工期短 縮と建設費削減を目指します。 大屋根スローフ

■ 大分の原風景

木々に囲まれ、木々とと もに生活をする。そんな 大分の原風景ともいえる 杉林のような建築を提案

地域の人達にとっては親 しみやすい**街のリビング** のような場所となり、県 外・海外からの来訪者に 対しては、地域材の魅力 を伝えるとともに、木を 利用した美しく力強い空 間を演出します。



■ 穏やかなランドマーク



配置図 兼 1F 平面図 事務室: 待合いスペースに隣接して配置し、各諸室へのアク の由本部が ス、施設全体の管理、入館管理を効率化します。 貸切バス待機所 ホーバークラフト格納庫 認性の高い位置に配置します。来訪者が迷れ 『目的地へと向かえるサイン計画とします。 タクシー乗降場 4台分 管理諸室: 1階に集約して配置することで、管理の しやすさに特化した配置計画とします。 駐輪場 20台分 **₽** 3F 大きなスロープ 屋根: タクシー待機場所 6台分 の一斉避難が 屋根下のオープンスペース: ホーバークラフト利用者だけ - 二次交通へとつながる大屋根 ホーバークラフト乗降場から/ 可能です。 ホーパークラフト乗降場からハ人・タ クシー乗場、駐車場までを一枚の大 屋根で繋ぐことで、動線を明確にし、 スムーズな乗り換えを実現します。 な利用も想定しています。



■ 宇宙港としての国東市側ターミナル

2020年、アジア初の宇宙 港としての大分空港にふさ わしい建築を提案します。

この場に訪れた人々が旅 へと出発する場所として 「空へと上昇していく景観」を つくります。緩やかに上昇す る外観は展望機能も兼ねてお り、大分空港の飛行機の発着 を望むことも可能です。



